



与謝野町商工会青年部 今井浩助さん 感謝の心を胸に。

5万7000人分の6人。
全国の商工会青年部員の中でた
た6人。その1人として全国の舞
台に立つのが、今回の「よさの人」、
今井浩助さんだ。

今井さんが出場する全国大会とは、
11月11日・12日に富山県で行われる
「商工会青年部主催第25回全国大会」。

この大会は、若手後継者育成の一
環として毎年行われているもので、
全国6ブロックの代表者が「青年
部活動に参加して」「青年部活動と
地域振興・まちづくり」のいずれか
のテーマに沿って出張発表する。今
井さんは前者を選び、北部、京都府、
近畿ブロックの予選を見事勝ち上が
り、近畿代表の座を手にした。

2年前の全国大会では、野田川町
商工会青年部(当時)の堀屋知弘さん
(石川)が最優秀賞に輝いており、
青年部の安田章一部長(後野)は「5

年連続で京都府の青年部員が近畿代
表。その内の2人が与謝野町商工会
青年部とは、まさに快挙」と健業を
称える。

今井さんは、19歳から23歳までの
5年間、大阪で「劇団ひまわり」に
所属し、役者を目指していたという
経歴の持ち主。

「人前で何か表現するのは気持ちい
い。劇団に所属していた苦労したこ
ともたくさんありましたが、この時
期に何事にも真剣に取り組むという
姿勢を養うことができました」

しかし、体を壊してしまい、道半
ばで夢をあきらめて与謝野町に帰郷。
2年間のアルバイト生活を経て、今
から3年前、家業の織物業園建設
の経営に携わり始め、その年の秋に
青年部に入部した。

青年部員としての初めての活動は
堀屋さんの全国大会リハーサルで、



いまい こうすけ
昭和57年生まれ。三河内在住。家
業の織物業は大正11年前葉の老舗。
4代目。与謝野町商工会青年部では、
資質向上委員会の委員長を務める

「部員の中で初めて話をしたのも堀
屋さんだった」と、その後を暗示す
るかのような運命的な開柄。

「自分自信の資質向上のためと、自
分にも力があるのか、自分を試して
みたくて出張発表大会への出場を決
めました」

発表のサブテーマは「心が変われ
ば未来が変わる」近頃なままと企業
をめざして、「担当班長として企
画した研修会で、経営者の心構えを
学び、「一番心を打たれたという感
謝の心」を題材として取り上げた。

冒頭、「皆さんは、『感謝の心』が
生み出す無限の可能性を知っていま
すか?」との問いかけで始まり、研
修会を通じて学んだ「感謝の心」を
実践することで、自分の人生や青年

部の活動、そしてまちをも変えるこ
とができるという主張を展開する。

全国大会では、このストーリーに
持ち前の表現力と表情の豊かさを加
え、「最優秀発表を争う」と今井さん。
「青年部員80人の支えがあったから
こそ、ここまで来ることができまし
た。勝ち上がるにつれ、青年部全体
が盛り上がりつつきている感じしま
す。今後の青年部の活動にこの盛り
上がりが生かされていくかと思うと、
それが何よりうれしです」

5万7000人分の1人へ。「感
謝の心」を胸に、挑戦が始まる。

「壮行会」開催決定!

- 日時 11月6日(金) 午後7時
- 場所 野田川わくばる



2009
10

町政懇談会 Q&A

安心と生きがいのある 福祉のまちづくり

01 妊婦検診の無料回数が
5回から14回になったが、
何年か経てばまた元に戻るのか、

A 平成20年度の国の補正予算で実施してきましたが、緊密に検証されているものではありません。しかし、子どもを育てる環境を整える中で、元気な子どもたちの出産を支援することは重要なことです。財政が許す限り続けていきたいと考えています。

02 知遊館で子育てふれあい
広場が実施されているが、
他の地域でもあるのか。

A 子育てふれあい広場は、子育て支援事業の一環として旧町時代から取り組み、新町でも継続しています。野田川流域では、岩屋保育所内に「子育て支援センター」を、加悦地域では加悦保育園内に「子育てサロートセンター」を設置し、保育所に入所する前の児童から産後まで、子育て支援事業を行っています。

03 在宅介護奨励金の支給制度は今年度で終了と聞い

た。その理由は、

A 本制度は、介護保険が始まる以前から京都府補助と町の上乗せ補助で実施してきました。介護保険制度開始と同時に府の補助は廃止されましたが、町単独事業として継続してきました。しかし、与謝野町となり福祉空間整備事業を実施する中で介護施設が一定確保できたとの背景もあり、直接給付ではなく、施策で介護支援を行うことを決断しました。また、与謝野町は介護サービスが充実していることから、保険料が府内では高額で、本制度を継続することは保険料上昇の要因となります。保険料抑制の面もあることを認識してください。

04 現在、介護施設にはすぐ
に入居できるのか。また、
施設整備の今後の展開は、



町地域福祉空間整備事業交付金を活用し整備された小規模多機能型居宅介護施設（石川）

A 待機入所者数は現在170名で、申し込み順ではなく、住環境などで入居できるエリアとなっています。また、福祉施設については、福祉空間整備事業として、法人が福祉施設を整備する場合、1カ所あたり1500万円を補助しています。これを利用して、平成19年度は加悦東地区に、平成20年度は石川地区に小規模多機能型施設を整備されました。今後、計画に沿って、地域密着型の使いやすい施設を整備していきたいと考えています。

05 健診の結果を文書で知ら
せるだけでなく、しこ
りと説明をしてほしい。まだ
75才以上は無料とし、75歳未満
は1000円でも自己負担して
受診した方がよいと思うが、

A 昨年から特定健診として各保険者が健診を行うことになり、与謝野町国民健康保険では、3会場（日曜日も含めて）実施しています。受診率は84%と都市部よりは高いですが、男性の受診率が低く、北部地域ではあまり高くありません。健診結果については、保健師が個別対応で説明しています。また、健診料については、1人でも多くの方

に受診していただきたいということから無料としています。

06 与謝の海軍院に脳神経外
科がなく、2月未現
在、緊急の場合には蒲生山や
鶴岡まで行かなければならない。
脳神経外科を設置してもらえ
るよう近隣の市町とも連携して京
都府へ要望してほしい。

A 2市2町の市長と呼びかけ、府知事へ要望に行きました。その時は、京都府立病院の脳神経外科医や京都市内の医者が少なく、状況であるため、今すぐの確保は難しいとのことでしたが、7月14日から、火・金曜日の週2回というかたちで再開されることになりました。限られた診療で不安もありますが、少しは安心いただけるかと思います。

伝統を活かし未来に チャレンジする 産業づくり

07 「京の豆こ」肥料につ
いて、生ごみや家庭セン
ターの残った食材などを回収し
て肥料にすることはできないか。
また、「京の豆こ」肥料の利

用は農家が対象なのか。

A 「京の豆こ」肥料の目的は、農作物の肥料としての役割があり、肥料の成分を一定に保つた、生ごみなどを使用することは難しいと考えています。また、肥料は農家だけでなく、家庭菜園用としても活用していただけます。

08 これからの農業のビジョ
ンをどのように考えてい
るのか。

A 国において農業が大きなテーマとして議論され、農地法も「農地を所有する」という考え方から、「農地を利用する」という考え方に改正されました。これによって民間の農地利用が可能となり、今後、企業も農業に参入できる時代になります。また、町としては、個人で高額の農業機械を所有され、その負担で苦労されています。今後、法人化により機械の管理が合理化でき、後継者を雇用できるような方法を検討していく必要があると考えています。

09 有害菌防止の電気柵の設
置が各地で行われている
が、半永久的に効果のある柵は
ないのか。

●地区別参加人数

地区	開催日	人数	地区	開催日	人数
新所区	5/11	20人	深町区	6/8	33人
加悦地区	5/13	32人	立町区	6/10	23人
加悦区	5/15	32人	藤原区	6/12	21人
後野区	5/18	37人	東町区	6/15	32人
与謝区	5/20	28人	男山区	6/17	37人
南區	5/22	27人	三河内区	6/19	32人
瀬江区	5/25	28人	岩瀬区	6/22	28人
金屋区	5/27	47人	藤原区	6/24	27人
明石区	5/29	38人	四辻区	6/28	40人
香河区	6/1	27人	上山田区	6/29	35人
石田区	6/3	30人	下山田区	7/1	30人
弓木区	6/5	22人	石川区	7/2	32人

5月11日から7月2日までの期間、町内全24地区を対象に4回目となる町政懇談会を開催しました。「与謝野町の3年間の取り組み」「平成21年度予算」「行政改革の進捗状況」をご説明するとともに、「有線テレビ拡張事業」についてもふれ、延べ736人の皆さんから、450件もの多岐にわたるご質問やご意見を寄せいただきました。今月号では、その中から主な質疑応答を、総合計画のまちづくりの6つの基本目標に沿ってご紹介いたします。

※懇談会の都合上、実際の問答と一致しない場合があります。

※回答は、町政懇談会開催時点のものです。



多くの会場で行ったインシミュレーションなどの災害訓練は、2名以上の農業者の方が参加される際には補助金があります。

A 従来は電気槽のみでしたが、地区によって、下はインシミュレーション、上はシカ用に電気槽といった工夫がなされています。補助金についても通常は6割補助ですが、今年度から、フェンス式には補助費が増える分7割補助としました。ただ、確実に効果のあるといえる方法がなく、根本的な打開策がないのが現状です。

10 「産業振興ビジョン」策定の「産業」とは具体的に何なのか。具体的な取り組みが難しいのか。

A 「生活実態調査」の結果も踏まえ、観光、第1次、

第2次産業すべてを含めた「産業振興ビジョン」を今年度策定します。委員は一般公募で商工業者を中心に集め、行政だけではなく、観光協会、織物業などさまざまな団体の方の声を交えて、具体的に産業のあるべき方向性を決めていきたいと考えています。また、農業者にも意見を求め、農業と商業の連携も図ってきたいと考えています。特に与謝野町の地場産業でもある織物業の不振に加え、最近の不況も重なり、なかなか先を見据えた計画を立てにくい状況ですが、今後はこの振興ビジョンをもって、町民の方の力も借りながら産業の活性化を図りたいと考えています。

11 若者が都市部へ出て行き、少子化も加わって、地域はさびれる一ただ。高速道路が整備されるので、それも良くなったと言えそうですが、それも良くなったと言えませんが、

A 1つの町で企業誘致するのは難しい状況です。与謝野町だけではなく、丹後全体の問題として考えていかねければなりません。また、「子育てするなら与謝野町」というような子育てしやすい環境づくりは、

若者定住の大事な要素と捉えています。ベッドタウン的なかたちになるかもしれませんが、若い人の数を増やすという努力は、企業誘致という面だけでなく、総合的に進めていきたいと考えています。

12 クアハウス岩瀬の運営にこの間、お話を伺っています。

A 運営委員会から指定管理者で運営するべきであるとの答申をこのほど受け、指定管理にに対応できる条例改正を行っているところで、平成22年度にはその方向で進めていきたいと考えています。

13 リンカやの里は再開するの。

A 指定管理者のリフレイン後の撤退により、昨年7月から休止の状況となっています。町直営より民間のノウハウによる運営の方が適していると考え、新たな指定管理者を募集したところ、社の応募があり、検討委員会でも1社に絞り込むように協議しているところです。6月議会の後半ぐらいに新しい指定管理者を指定する議案を提出し、管理運営していただける会社を決定したいと考えています。(6月議会まで予定)

自然と安全を守る まちの基礎づくり

14 屋外で草を燃やしているところを見かけた。害を及ぼしている。

A 屋外で物を燃やすことは原則禁止されていますが、農業者が草を燃やすことについては特例で認められています。隣近所に苦情の出ない範囲で行ってください。生ごみ、フラスチックごみを燃やすのは違法であり、取り締まりの対象となります。野焼きは、ごみを燃やす行為という認識ですので、認められません。家庭において燃やすなどごみを燃やすことも現在は違法です。

15 農地を各農家に分けるようにしたが、農地利用がなかなか進まない。

A 今年度初めて、全地域で統一した費用負担と実施方法で行いました。その結果、いろいろな意見をいただきました。来年度の案議に向けて、再度調整する機会を求めたいと考えています。

16 各地域の最終処分場が満杯になったら、別の処

分場で引き受けるのか。
A 各地域の最終処分場については、それぞれ「平成何年まで」などの目安を定め、決まっています。今後は旧町単位に処分場を整備することはないと思いますが、これまでの例から考えても、最終処分場の場所を決めるのは10年近くかかることが予想され、検討の時期にきているものと認識しています。焼却施設については、2市2町の事務担当者の検討を始めようとしているところです。ごみの問題は安心・安全のために大切なことであり、今後は広域で検討していく必要があると考えています。

17 資源ごみ回収はP.T.A.の大きな負担となっている。今年から引き取り単価が5円から3円に下がったのはなぜか。

A 金属などの引き取り単価が著しく、以前に比べるとほぼ倍増しています。場合によっては逆差額ということもあり、その場合は町ぐるみの1を負担しています。資源回収は収入という部分もありますが、環境意識教育の推進という意味合いで今後もお世話になりたいと考えています。



18 今年度の防災行政無線の整備計画について教えてください。

A 現在、加悦地域に屋外の防災行政無線が整備されていないため、平成20年度から21年度にかけて調査を行い、平成22年度から順次整備してまいります。現在の苦しい状況ですが、FM告知放送を整備してきたいと考えています。

19 消防団員が全国的に不足している。消防団員の身分、報酬などを改善して、消防団に入ってもらいやすい環境をつくれないか。

A 消防団で団員の確保をしていただいているほか、区長会を通じてお願いするなどしていますが、実際には難しいのが現状です。非常に難しい課題ですが、「地域を守る」という観点からも、引き続き団員の確保に努めています。

20 勤めの消防団員が多く、日中の火災の際に間に合わないことがある。消防団OBで応援をくつたらどうか。

A 公務災害のことを考えると、OBが消防車を運転するのは難しい面があります。しかし、宮津市や京都市でも事

例がありますので、OBの団体や消防委員会と検討してきたいと考えています。

21 災害時の避難訓練のリストアップができていないと聞いている。伊根町や宮津市はできているが、いつになったらできるのか。

A 与謝野町では、住所・氏名・状態などを対象者に照会し、本人の希望があればリストに登録する「手上げ方式」で作成していきます。自治会単位でできているところもありますが、遅れているところもあります。リストに入ることを本人が拒否される場合がありますが、希望されない方に対しては、民生委員さんや地域の婦長を待たせながらお願いをしていきたいと考えています。



快適でやさしい生活環境づくり

22 加悦・野田川地域について都市計画区域にする予定か。

A 平成20年度に実施した基礎調査をもとに関係機関に状況を説明し、意見を聞いています。野田川・加悦地域については、協議の状況を見ながら検討していきます。なお、都市計画税については、旧与謝野町にありましたが、現在は徴収していません。

23 旧加悦町の時には、住宅改修に対し助成制度があった。水害被害ののためにも復活してもらえないか。

A 平成15年から8年間、旧加悦町で住宅改修の補助制度があり、総額で約6億6000万円の改修がありました。要望を受け、住宅改修助成制度について6月議会に上程しているところです。(制度施行済み)

24 阪神サイロパークは平成24年度に完成するの。また、海岸道路はいつ通行できるようになるのか。

地域防災の中心となる役割を担う消防団。入町希望者は各分団または総務課まで

A 役場本庁舎から北側の都市公園部分6haは、平成24年度ですべて完成します。残り4haの国の補助金がまだない区域は、平成25年度以降に整備する予定です。整備内容については、阿蘇シーサイドパーク設計審査委員会が提案していたかきだといっています。岩瀬海岸線の開通は、平成22年度の前半の予定です。

Q25 京都縦貫自動車道の野田川・岩瀬インターの供用開始時期はいつ頃か。

A 1年前倒して平成22年度に開通予定です。何月とまでは明らかになっていません。

Q26 明石倉河橋が開通したが、スノーシエルトー工事はどのようなのか。

A スノーシエルトーは、国の補助事業を活用し工事している関係で、事前にできるなどの条件がないとできません。また、京都府なども調整しなければなりません。凍結については、クルーヒンという方法で補填しているのので、一定配慮しています。

Q27 除雪について、車道ばかりで歩道ができていないところがある。道を雪を買

い物で車道を雪ならなければならない、大変困っている。

A 歩道の除雪については、業者にお願している分と地域の方にお世話になっている分とがあり、自転車道については京都府が除雪しています。地域でお世話になれるということであれば、小型除雪機を手配させていただきます。

Q28 自転車道の外灯の問題は何年か前から言い続けていることであるが、今後の見込みはどうか。

A 現在、京都府で計画しており、今年度、堂谷橋から野田川駅を抜けた先の府道までの区間に試験的に設置する予定です。京都府の計画ではLED照明を予定していますが、町としては外灯程度の照明でよい



防犯灯が設置されることになった自転車道（サイクリングロード）

いので早く進めてほしいと要望しています。今回の設置以降は、水戸谷3.2号線までの設備が予定されていますが、その総額は未定です。自転車道は宮津まで続いており、宮津市からも要望が出ています。農作物との関わりもあるため、それらを総合して、現在京都府が調整しているところです。

Q29 道江（谷地地区）の防犯灯設置施設について、公防犯協定を結んでから今年の3月で更新の5年が過ぎた。改善もあつたが、依然として改善のめんどろで、臭気・粉塵・騒音に不安な日々を送っている。調査結果が予算計上されているが、住民の被害についてまだ説明していないのでは。

A 非常に迷惑をおかけしています。調査については、臭気・粉塵調査のどちらをするか、まだこの業者は、いつの時期に委託するのがよいか、地元の方々と協議の上、調整させていただきたいと考えています。4月には、議会の文教・厚生常任委員会が招致し、住民環境課も同行しました。

Q30 天橋立を世界遺産に推薦するメリットとは何か。

A 暫定リスト入りはできませんでしたが、一步手前の「カタクリ」には位置付けられました。今後、国際的な価値を見いだすよう議案会などが計画されています。世界遺産に登録されれば、観光客が大量に来て地元にお金が落ちるという観点ではなく、天橋立を次世代に残していくことが目的です。天橋立を守るということ、昔のきれいな海を取り戻すことです。次の世代にきれいな海を残していくため、皆さんの力を借りたいと思います。

Q31 「ミニミニバスひまわり」の運賃は安いことだと思つたが、使っていくと高価格がある。

A 1台のバスでやり繰りしていますので、すぐの改善を実現することは難しいですが、1年間の試行運行期間中に皆さんの意見を聞きながら、町営バス運営協議会で見直ししていくと考えています。

Q32 「ミニミニバスひまわり」の前座席の状況について教えてほしい。最初の予定と比べるとどうなのか。

A 8月16日からコースに分けて走っており、月末



までの半月間で約3000人の方に利用いただきました。4月が25日間の運行で約5000の方に利用いただき、1日平均で約20人程度です。8月、4月の運行収入は8万円ずつの16万円です。今の状況からいくと年間100万円程度となりますので、黒字であると考えています。運行経費については、国から2分の1の補助があり、その残りに対して80%までは特別交付税で措置されますので、一般財源からの支出はそんなに多くはないと考えています。

Q33 町有線テレビの施設拡張事業に約17億円とのことだが、国などの補助金を降いだした、国の補助金を出したの程度の規模になるのか。

A 総額17億5900万円の事業費のうち、補助金3億7700万円、起債13億1900万円で、うち起債償還金の7割が交付税で措置される合併特例債を活用するため、実質的な町の負担は4億1500万円となります。加悦地域では現在黒字となっており、野田川・岩瀬地域で44%以上の加入があれば黒字を賄えると試算しています。

Q34 加悦地域において、家の軒先まで光ファイバーが入る「FTH」化の工事はいつ頃始まるのか。

A できるだけ早い時期にやりたいと考えていますが、具体的な時期は決まっています。（9月議会で可決）

Q35 アナログテレビで地上デジタル放送を見るためにはチューナーが必要だが、町から支給されるのか。

A 町が支給する考えはありません。チューナーや地デジ対応のテレビは各自で購入してください。ただし、有線テレビについては、デジタル電波をアナログ電波に変えて家庭に送信（デジ・アナ変換）することが国で補助されており、実現すれば現在のテレビを当面お使いいただけることになります。（経済的に対応が困難な方に、チューナーを現物支給する制度を国が創設）

Q36 合併後に旧町間で水道料金が違うということだが、現在はどのような状況か。

A 町内の水道は上水道と簡易水道があり、システムが異なっています。岩瀬地域は



野田川・岩瀬地域に放送される有線テレビ、放送開始予定日は12月28日まで

上水道で基本料金が1350円、加悦・野田川地域は簡易水道で基本料金が1500円です。しかし、現在、岩瀬地域の上水道は赤字となっており、来年4月から基本料金1500円に統一したいと考えています。しかし、値上げしても上水道は赤字であり、実際には1900円にしないと採算が合わない状況です。（20参照）

Q37 下水道の加入状況はどうか。加悦・野田川地域の下水道整備を推進していくことで、岩瀬地域の下水道料金の値上げを少しでも遅くできないか。

A 岩瀬地域75%（前年比1.6%増）、加悦地域59.8%（前年比2.0%増）、野田川地域55.2%（前年比3.6%増）です。岩瀬地域の

水道会計は企業会計であり、岩瀬地域の水量に対して必要な金がかかるため、加悦・野田川地域の加入状況により変動するものではありません。

明日の人材を育てる教育文化のまちづくり

Q38 小学校などの統廃合について、検討委員会から提言があつたと聞くが、その内容を教えてほしい。

A 教育・児童政策検討委員会から8月1日に提案いただきました。内容を大雑把にいうと、保育所・保育園は現状のままでよい、小学校はクラス制程度が望ましい、中学校はこのままでよいのでは、という提言をいただいています。これを受けて、今後、内部で一定の方向性を出し、町民全体で議論をしていく必要があると思っています。

Q39 加悦中学校の早期放棄・建て替えについて、議会が賛成されたということだが、どう考えているのか。

A 加悦中学校は、建て替えで17億円、耐震補強だけ



高校生の若い力も町政に生かす

加悦谷高校生と町長との対話授業

町政懇談会の高校生版ともいえる「加悦谷高校生と町長との対話授業」を7月17日、加悦谷高校で開催しました。

将来を担う高校生の考え方やまちづくりに対する思い、また高校生ならではの目線で見たと謝野町の課題などを町長が直接聞くことにより、これからの町政運営に生かそうと毎年開催しており、今年で3回目となります。

最初に、天田賢美町長が合併にいたる経遇を話した後、「総合計画は、今後10年間の住民の皆さんと共通認識を持つための教科書のようなもの」と住民参画によってつくられた総合計画について説明。また、「総合計画で位置づけた事業を財布の中心（財政）と相談しながら実施し、まちづくりを行っている」というまちづくりの方針やまちづくりの仕組みについての話に、参加した3年生15人の生徒は真剣な表情で聞き入っていました。

意見交換では、直接町長と話すことができる貴重な機会ということもあり、▽岩屋地区からのスーパーの撤退▽与謝野町の知名度アップ▽合併してよかったと思えるまちづくり▽サイクリングロードへの外灯の設置▽ごみのポイ捨て▽税金▽少子化▽ごみの不法投棄▽働く場の確保▽公園の遊具▽町長の仕事—など幅広い分野から、日頃抱いている疑問や意見、まちづくりへの提案などを町長に述べた高校生がみられました。



49 今年に入ってから固定資産税の評価が変わった。固定資産税の評価は現状で評価させていただいており、今後、文書を出してご理解をお願いしました。例えば、宅地の筆の所で半分宅地・半分畑の場合は、分筆ができていれば現状で評価させてもらうことになりますが、現段階では宅地での評価となります。

49 職員が税金滞納者のところに行つて回収している。うが、差し押さえ対策は、不動産であれば差し押さえから公表までには非常に

に時間がかかりますが、売却金や預貯金、給与の差し押さえを行うなどしています。府内のほとんどの市町村で滞納整理が追いつかないということもあり、京都府と市町村で滞納を整理する共同組織が平成22年1月から立ち上がります。これにより、現在の滞納対策よりも効果が上がると見えます。

50 公民館活動が町内14地区で取り込まれ、各地区年間25万円の活動費で実施されている。増額を要請しても聞いてもらえない。各地区一律の予算ではなく、活動内容により配分を加減するという方法はどうか。

A 公民館活動は、「コミュニティづくり」に大変役立つています。活動にお金が必要なのは分かりますが、増額は財政的に困難です。しかし、腰をなせるという提案は検討させていただきます。

51 毎年、区から町へ要請を出して回答をもらっているが、「現地を鑑照する」「府へ要請する」などの回答が返される。これらについてはその後どうなるのか。また、ホームページで公開してほしい。

A 24区全体の要請書については、各庁舎で閲覧でき、その回答は要請のあった区そ

れそれぞれ返しています。ホームページでの要請書の公表については検討します。

52 町や行政に對する疑問はどこに持っていけばよいのか。

A 役場各庁舎にある地域振興課や、担当窓口はつきりしている場合は担当課にお気軽にご相談ください。来庁、電話、文書など相談方法は何でも結構です。住所と氏名がはつきりしていれば返信もさせていただきます。国や京都府の事業のことでも役場で取り次ぐこともできます。

町政懇談会のすべての内容は各庁舎、ホームページで閲覧できます

会場での質問にお答えできなかったものや、アンケートへの回答など、すべての内容を「町政懇談会のまとめ」として取りまとめ、各庁舎に設置しています。また、町ホームページにも掲載していますのでご覧ください。【企画財政課 ☎ 46-3084

でも12億円と多額の費用がかかります。また議論に入つていませぬが、どちらにしていくなか議論を出したいと思えます。議会への請願については、加悦中の建て替えだけに限定されたものではなく、教職員組合から提出された教育環境の整備の請願の中に項目として入つていなるのであり、それが否決されたということですが、

40 公民館の耐震はどうなっているのか。危険な施設に避難することになるのか。

A 耐震診断は学校と保育所、保育園が実施していません。地域防災計画では、

A 小学校の遊具については3カ年計画（今年度が3年目）で点検、危険遊具の撤去、更新を行つていきます。各地区の児童遊園地へ新たな遊具を設置する場合は、自治振興補助金を活用いただき、区で設置してください。最大8分の2の補助が受けられますので、地域で協議してください。

42 学校給食で、パンが週1回しかない。回数が増えないか。また、給食費が上がつたことも聞か、京の豆「こ米」を使っているからか。

A 給食は実費徴収で材料を賄っています。昨年、麦

をはいれ材料費が高騰したことを受は、米の値段が安いのでパンの回数を減らしました。年度途中で引を上げは難しいので、今年度から引き上げを行いました。まだ「京の豆」「こ米」を給食に使用していますが、流通経路を簡単にし、給食費には賄ね返らないようにしています。地産地消という考え方も、給食センターでは地元で採れた米や野菜を使っています。

43 子どもたちが小学校で俳句に熱心に取り組む、大人鑑賞の俳句をつくるまでになつていて。もこと「俳句のまち」として全国にアピールし、全国大会を開催するなどしてもらいたい。

A 与謝小学校では学校をあげて俳句に取り組んでいます。与謝町では毎年「江山文庫俳句大会」を開催しており、今年では10回目を数えます。全国各地からたくさんの応募があり、選手も日本を代表する方にお願ひしています。また、平成23年に京都府で開催される「国民文化祭」では、与謝町は「与謝村顕彰俳句大会」の催地として決定しました。これが「俳句のまち」としてのまちお

こしたながら思っています。

協働を進めるまちづくり

44 行政改革の進捗状況について、昨年度の米運成の部分は上乗せされていかなければならないと思うが、達成の見込みはあるのか。

A 初年度は約93%の達成見込みです。達成率が悪かつた理由としては、住民の皆さんに痛みを覚えていただくまでに、まずは役場の中での徹底した行政改革を重点的にやつていこうとしたからです。まずは内部から改革し、外部はそれかと考えています。

45 庁舎が3つに分かれているが、将来の構想は。

A 役場内部でワークスグループを立ち上げ検討している段階で、一定の結論を出して町長に提案します。庁舎に関してはさまざまな問題が出てくることから予想されますので、慎重に協議する必要があります。

46 合併してよかったのかと思う。いろんな事業が細小している。3年経つても町民

の一体感を醸し出し、元気のあふれる町にしてほしい。

A 決して事業を抑えているわけではありません。行政主導ではなく、住民の皆さんにもできることはしていただき、町は安心・安全をするために最低限のことは行うという考え方で進めています。昨年、体育協会を中心に阪宇大会が行われました。このように、自らやろうという団体などに対し、支援、協力していくという考えであるということをご理解ください。

47 この状況の中、町内の建設業者に配慮し、入札の際の最低制限価格を見直すことは考えていないのか。また、業者の選定については町内業者のみとしているのか。

A 今年度から、本社・本店が与謝町にあることを条件としています。ただし、建築分野については、町内に業者が少ないので、町外業者も含めての選定になる場合もあります。合併以降、入札方法は検討し続けています。最低制限価格についても、国の指導もあり、見直すこととしています。近く、新しい制限価格での入札が実施できる予定です。



山田小学校の耐震工事。町立小学校の耐震工事は来年度で終了します

学校の体育館なども避難施設としており、公民館などの施設は今すぐに耐震診断をすることはできません。また、地震と大雨などは避難所が違います。現在、耐震診断の対象としているのは昭和56年以前の建物です。

41 公園にあった危険な遊具を町に撤去してもらったが、その後新たな遊具を設ける話がない。

をはいれ材料費が高騰したことを受は、米の値段が安いのでパンの回数を減らしました。年度途中で引を上げは難しいので、今年度から引き上げを行いました。まだ「京の豆」「こ米」を給食に使用していますが、流通経路を簡単にし、給食費には賄ね返らないようにしています。地産地消という考え方も、給食センターでは地元で採れた米や野菜を使っています。

43 子どもたちが小学校で俳句に熱心に取り組む、大人鑑賞の俳句をつくるまでになつていて。もこと「俳句のまち」として全国にアピールし、全国大会を開催するなどしてもらいたい。

A 与謝小学校では学校をあげて俳句に取り組んでいます。与謝町では毎年「江山文庫俳句大会」を開催しており、今年では10回目を数えます。全国各地からたくさんの応募があり、選手も日本を代表する方にお願ひしています。また、平成23年に京都府で開催される「国民文化祭」では、与謝町は「与謝村顕彰俳句大会」の催地として決定しました。これが「俳句のまち」としてのまちお

こしたながら思っています。

協働を進めるまちづくり

44 行政改革の進捗状況について、昨年度の米運成の部分は上乗せされていかなければならないと思うが、達成の見込みはあるのか。

A 初年度は約93%の達成見込みです。達成率が悪かつた理由としては、住民の皆さんに痛みを覚えていただくまでに、まずは役場の中での徹底した行政改革を重点的にやつていこうとしたからです。まずは内部から改革し、外部はそれかと考えています。

45 庁舎が3つに分かれているが、将来の構想は。

A 役場内部でワークスグループを立ち上げ検討している段階で、一定の結論を出して町長に提案します。庁舎に関してはさまざまな問題が出てくることから予想されますので、慎重に協議する必要があります。

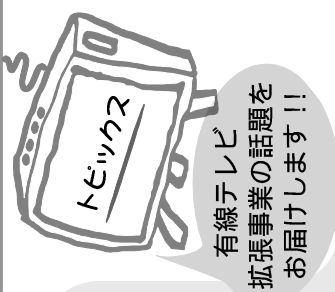
46 合併してよかったのかと思う。いろんな事業が細小している。3年経つても町民

の一体感を醸し出し、元気のあふれる町にしてほしい。

A 決して事業を抑えているわけではありません。行政主導ではなく、住民の皆さんにもできることはしていただき、町は安心・安全をするために最低限のことは行うという考え方で進めています。昨年、体育協会を中心に阪宇大会が行われました。このように、自らやろうという団体などに対し、支援、協力していくという考えであるということをご理解ください。

47 この状況の中、町内の建設業者に配慮し、入札の際の最低制限価格を見直すことは考えていないのか。また、業者の選定については町内業者のみとしているのか。

A 今年度から、本社・本店が与謝町にあることを条件としています。ただし、建築分野については、町内に業者が少ないので、町外業者も含めての選定になる場合もあります。合併以降、入札方法は検討し続けています。最低制限価格についても、国の指導もあり、見直すこととしています。近く、新しい制限価格での入札が実施できる予定です。



■データ放送のトップ画面が完成間近となりました

与謝野町有線テレビ事業では「放送」「通信」「防災」を連携したサービスを提供してまいります。「放送」としては、地上波放送、自主番組放送、文字放送、衛星放送の各種サービスに加え、新たに「データ放送」サービスを計画しています。

「データ放送」とは、町の出来事やお知らせを映像放送する自主番組放送にデータを付加し送信するもので、映像とは別に町の気象情報や行政情報、生活情報など、リモコン操作で得たい情報を選択し確認することが出来るものです。行政情報、防災情報、お知らせ、おみやみ、地域のお知らせ、ごみカレンダーなどの情報提供を予定しています。

また、加入者が参加できるこ

有線テレビ
拡張事業の話題を
お届けします!!



●与謝野町有線テレビの「データ放送」画面（参考画面）
リモコンのDボタンを押すと、与謝野町有線テレビの自主放送番組が右上に線小表示され、天気予報や暮らしの情報、防災情報などさまざまな情報を得ることが出来ます。

コミュニティスペースの整備も進めており、テレビ画面を通して、個々の交流や、サークルメンバーの募集、お店の紹介など、利用者の皆さんの自由な発想でご利用いただけるようなスペースも準備します。

文字が高みづらい場合などは、文字を大きくしたり色調を変更することでも出来ます。データ放送をご覧になるには、有線テレビサービスプランの「Aプラン」または「Bプラン」にご加入いただき、地上デジタル放送に対応したテレビが必要で



防災対策として
F M告知端末機を無料で
設置します。お申し込み
はお早めに!!

大切な お知らせです。

これまで住民説明会や広報誌などで、有線テレビ事業についてご案内をし、第1次申し込みでは多くの方から事前加入申し込みをいただきありがとうございました。しかし、「地上デジタル放送はすでに視聴できるし、インターネット環境も十分」、また「よく分からないので、わが家には関係ないのでは?」と、F M告知放送の重要性が見逃されている方も多いようです。今回は、防災対策としてのF M告知放送「Dプラン」の運用と将来計画についてお知らせします。

■屋外拡声器（防災行政無線放送）からF M告知放送へ。

岩瀬・野田川地域では、屋外拡声器を使用して、役場からのお知らせを放送していますが、この屋外拡声器と放送設備を新しくデジタル防災行政無線放送設備として更新する時期が迫っています。

町では更新時期にあわせ、役場からのお知らせはF M告知端末機による放送に切り替え、屋外拡声器からの放送は廃止する予定です。

新たなデジタル防災行政無線放送設備の運用については、防災専用として緊急放送時のみの放送（F M告知端末機からも放送します）とする計画としています。

■防災行政無線の個別受信機も将来使えなくなります。

屋外拡声器からの放送では聞こえにくかったことから、個人的に個別受信機を購入されているご家庭がありますが、屋外拡声器の放送設備のデジタル化に伴い、ご使用中の個別受信機は将来使えなくなります。この機会を逃さずにF M告知放送の「Dプラン」にお申し込みいただきF M告知放送端末機の設置をしてください。

■F M告知放送の「Dプラン」は、配線工事と月額利用料が無料です。

有線テレビ事業事前加入申込受付期間中の平成21年12月28日までに申し込みをされずと、指定された電気店がご家庭にお伺いし、F M告知端末機の設置場所や配線工事などのご相談をさせていただきます。

標準的な宅内配線工事の場合は、個人負担することなく無料で設置できます。また、月々の利用料も無料です。標準的な宅内配線工事とは、軒下に設置する「ONU」という変換機からF M告知端末機までの宅内配線（露出配線20m程度）と接続調整です。埋め込み配線など特殊工事の場合は、特殊工事費のみ個人負担となります。

■地域情報化の恩恵を受けましょう。

防災対策として、全世帯を対象にF M告知放送端末機の設置を推進しています。大切な税金を使い整備しますので、ぜひとも住民の皆さんにその恩恵を受けていただき、情報化の有効性を発揮したいと考えています。

国の補助支援がある事前加入申込期間中に申し込んでいただくことで、標準的な宅内配線工事が無料となり、個人負担も軽減されますので、迷わずF M告知放送の「Dプラン」への事前加入申込手続きをお願いいたします。

●4つのプランとサービス一覧

サービスとプラン	Aプラン	Bプラン	Cプラン	Dプラン
有線テレビ	●	●	—	—
光インターネット	—	●	●	—
F M告知放送	●	●	●	●
月額費用	1,000 円	3,000 円～	2,500 円～	0 円

【問い合わせ先】
企画財政課
☎46-3084

■光インターネット通信の料金が確定しました

インターネット通信の料金は、これまでの説明会では金額に幅を持たせた説明をしてきました。が、このほど料金が確定しましたのでお知らせします。

プラン	通信速度	有線テレビ	インターネット	合計
B プラン	廉価版タイプ 10Mbps	1,000 円	2,000 円	3,000 円
	基本タイプ 30Mbps	1,000 円	3,000 円	4,000 円
	まんぞくタイプ 100Mbps	1,000 円	4,000 円	5,000 円
C プラン	廉価版タイプ 10Mbps	—	2,500 円	2,500 円
	基本タイプ 30Mbps	—	3,500 円	3,500 円
	まんぞくタイプ 100Mbps	—	4,500 円	4,500 円

※A・Dプランには光インターネット接続は含まれません。

■町内各所で伝送路工事が始まりました

関西電力社やN T T 社等に光ファイバー線を張る工事が9月28日からスタートしました。

町内各所で順次工事を進めていきますが、道路上の作業となることから交通の往来や自宅前での工事となります。近隣の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

岩瀬・野田川地域の伝送路工事は、加入者の引き込み工事も含め3月頃まで行う計画です。また、民有地の電柱へ共架配線の同意承諾をお願ひしていただきました。ご協力いただきました皆さんありがとうございました。



工事は高所作業車による作業となります

アスリートたちの熱い夏。

この夏、近畿や全国の舞台で熱い戦いを繰り広げた与謝野町のアスリートたち。今月号では、その活躍をクローズアップします！

第 58 回近畿中学校総体 陸上競技の部 共通男子 200m 7 位 (8/6～7・神戸市)

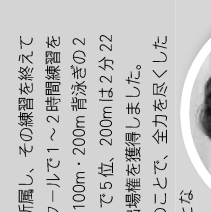
北風 優貴 君 (江陽中 3 年)



今年 100 m から 200 m に転向し、府大会で 23 秒 32 の記録で見事優勝を果たした北風君。近畿大会では、府大会は予選で力を温存できたが、近畿大会は他の選手はみんな速かった」とレベルの高さを感じながらも、予選から全力を尽くし決勝に進出。「最後はバタバタだったが、自己ベスト (23 秒 14) が出てよかった」と 7 位という結果に満足した表情を浮かべていました。これまでは野球部に所属する傍ら、大会に出場していましたが、今後は陸上を続けていくとのこと、10 月のジュニアオリンピックに出場も決まったので、練習で課題のフォームを固めて 22 秒台を出したい」とさらなる飛躍を誓っていました。

第 58 回近畿中学校総体 水泳競技の部 男子 100m・200m 背泳ぎ 出場 (8/6～7・神戸市)

野村 京平 君 (橋立中 2 年)



中学校ではバスケットボール部に所属し、その練習を終えてからほぼ毎日、男山のスイミングスクールで 1～2 時間練習を重ねているという野村君。府大会は 100m・200m 背泳ぎの 2 種目に出場し、100m は 1 分 7 秒 26 で 5 位、200m は 2 分 22 秒 52 で 4 位に入り、近畿大会への出場権を獲得しました。「近畿レベルの大会は初めて」とのこと、全力を尽くしたものの、健闘及ばず予選での敗退となりました。「自分はスタートが苦手。近畿大会で他の選手のやり方を見ている」と勉強になった。2 年生ながら出場した初の舞台での収穫を口にし、「さらに上を目指せるようがんばりたい」とさらなる飛躍を誓っていました。

第 58 回近畿中学校総体 陸上競技の部 女子低学年 4 × 100m リレー 出場 (8/6～7・神戸市)

橋立中学校リレーチーム

府大会で 3 位に入り、近畿大会出場を果たした 4 人はチームワーク抜群。アンカーの中村有希さん (2 年) は「リレーはチーム種目。個人種目にはない楽しさがある」と話します。迎えた近畿大会。予選を組 1 位でゴールを駆け抜けましたが、2 走の楠田優花子さん (1 年) と 3 走の金子澤さん (1 年) のバトンパスでミス (ライクオーバーゾーン) があったとの判定があり、まさかの失格。「ギリギリ大丈夫かと思っていた。近畿大会まで行ってこんな結果が悔しかった」と 2 人は口をそろえました。しかし、「2 人だけのせいではない」とかばった 1 走の松田奈日さん (2 年)。「この悔しさをバネにして、練習を大切にやっていきたい。そして、来年このメンバーで走って近畿大会で入賞したい」と来年の目標を見据えています。



左上から時計回りに、楠田優花子さん、中村有希さん、金子澤さん、松田奈日さん

第 58 回近畿中学校総体 水泳競技の部 女子 100m・200m バタフライ 出場 (8/6～7・神戸市)

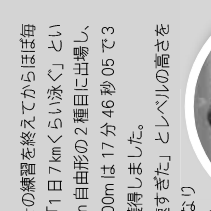
伊達 由紀 さん (江陽中 3 年)



「近畿大会出場を目標にしていた」という伊達さん。中学校でソフトボール部に所属する傍ら、男山のスイミングスクールで練習を重ね、府大会は 100m・200m バタフライの 2 種目に出場。100m は 1 分 7 秒 63、200m は 2 分 29 秒 58 と、いずれも 3 位に入り、近畿大会への出場権を獲得してしまっ、しかし、「目標を達成してしまっ、少し気が抜けてしまった」と、近畿大会では思うような泳ぎができず、予選敗退となりました。レベルの速い足を肌で感じ、「もっと上をめざしていこうと思った」という伊達さん。「高校では全国大会に出場できるように頑張りたい」。その言葉には力が込められていました。

第 58 回近畿中学校総体 水泳競技の部 男子 400m・1500m 自由形 出場 (8/6～7・神戸市)

大江 日向 君 (江陽中 3 年)



中学校では吹奏楽部に所属し、その練習を終えてからほぼ毎日、男山のスイミングスクールで「1 日 7 km くらい泳ぐ」という大江君。府大会は 400m・1500m 自由形の 2 種目に出場し、400m は 4 分 32 秒 62 で 4 位、1500m は 17 分 46 秒 05 で 3 位に入り、近畿大会への出場権を獲得しました。近畿大会は「他府県の人たちが速すぎた」とレベルの高さを感じ、健闘及ばず予選での敗退となりました。「府大会よりタイムが落ちていたが、最初から全力を投入のよかった」とレースを振り返り、「近畿大会に出ることができたので、高校でも水泳を続け、インターハイに出場したい」と力強く話していました。

第 35 回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子 100m ハードル 出場 (8/21～24・大分市)

第 58 回近畿中学校総体 陸上競技の部 女子 100m ハードル 4 位 (8/6～7・神戸市)



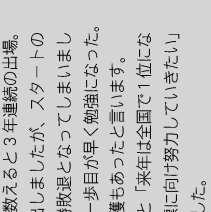
2 年生ながら、府大会では中学新記録を出した選手に続く 2 位に入った中村さん。近畿大会では全国クラスの選手らが出場する中、決勝に進出。レベルの高い中で 3 位に入りました。でも、自己ベスト (14 秒 38) が出てよかった」と、惜しくも 3 位に僅差で及ばなかったものの、見事 4 位入賞を果たしました。全国の舞台は小学校 6 年の時から数えるとして 3 年連続の出場。予選を組 2 位で通過し準決勝に進出したが、スタートの遅れを最後まで取り戻せず、準決勝敗退となってしまいました。しかし、「強い選手はスタートの一步目が早く勉強になった。自分の弱いところも分かった」と収穫もあったと言います。レース後には、コーチでもある父と「来年は全国で 1 位になる」と約束したとのこと。「その目標に向けて努力していきたい」という言葉には力が込められています。

第 36 回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子 800m 出場 (8/21～24・大分市)

第 58 回近畿中学校総体 陸上競技の部 男子 800m 4 位 (8/6～7・神戸市)



昨年までは 3000m が専門種目。「3 年生になってから、ライバルの父に勧められて気分転換に始めた」という 800m で京都府 2 位となり、近畿と全国行きの切符を手に入れました。近畿大会では、経験不足から「コースの位置取りを間違えて、自分の力が出し切れなかった」というものの、結果は 4 位入賞。「かなり緊張した」という全国大会は、近畿大会での反省を生かしたレースを展開。予選はスタートから先頭に立ち、そのまま 1 位でゴール。1 分 57 秒 90 のタイムは自己ベストで、今大会のベスト 3 に入る好記録。続く準決勝は「完全に力不足。最後まで力が出なかった」と、全体の 10 番目のタイムで惜しくも決勝進出を逃しました。「予選のタイムは自信にはなかったが、決勝に行けなかったのが悔しかった」と大会を振り返り、手応えを感じた以上に悔しさをにじませていました。



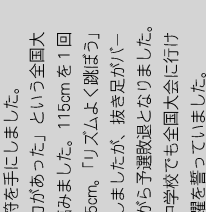
「予選のタイムは自信にはなかったが、決勝に行けなかったのが悔しかった」と大会を振り返り、手応えを感じた以上に悔しさをにじませていました。

ねんりんピック北海道・札幌 2009 ソフトボール交流大会 3 位 (9/6～8・石狩市)

糸井 幹二 さん (岩滝)



福知山市や舞鶴市、京都市などのソフトボール仲間と昨年結成された「北都シニアクラブ」に所属する糸井さん。週に 1 回の練習を重ね、昨年は結成 1 年目で全日本シニア選手権に出場。初めての挑戦となったねんりんピック府予選では、エースとして全試合で 1 人で投げ抜き、京都府代表の座を勝ち取りました。壮年クラスで数回、全国大会に出場経験もある糸井さんといえども「1 試合目は毎回神経を使う」と言います。「味方が先制してくれたおかげでうまく投げることができた」と初戦を 4 対 1 で勝利。その後、2 回戦、3 回戦、準々決勝と 2 日間で 4 試合、約 300 球を投げ、準決勝に進出。「さすがに手が動かなくなかった」と 3 日目の準決勝は他の選手にマウンドを託し勝利を祈りました。惜しくも敗れたものの、堂々の全国 3 位。「周りが上手く盛り上げてくれた。メンバーに感謝したい」と笑顔で話していました。



「いつも大会と違ってすごい迫力があった」という全国大会は、自己ベストの更新を目標に臨みました。115cm を 1 回目でクリアし、次のバーの高さは 125cm。「リズムよく跳ぼう」と意識して自己ベストの高さには挑戦しましたが、抜き足がバーをくぐり 3 回の試技を失敗。残念ながら予選敗退となりました。「全国大会に出られてよかった。中学校でも全国大会に行けるようがんばりたい」とさらなる飛躍を誓っていました。